

平成13年8月7日

## DLJディレクト マイレージサービス開始

### 「JAL及びイーマイルネットとの業務提携のお知らせ」

インターネット・トレーディング専門の証券会社、ディーエルジェイディレクト・エスエフジー証券株式会社（代表取締役：國重惇史、本社：東京都千代田区；以下「DLJディレクト」）は、日本航空株式会社（代表取締役社長：兼子 勲、本社東京都品川区）及び、インターネットサイト「e-milenet.com」を運営するJALグループの株式会社イーマイルネット（代表取締役社長：齊川満、東京都港区）と業務提携し、JALマイレージバンク（以下「JMB」）サービスを核としたポイント交換サービスを8月下旬から9月下旬にかけて開始します。

DLJディレクトは、顧客ロイヤルティプログラムの一環として、独自のポイントサービス（以下「DLJポイント」）を提供しており、今回の提携により、顧客は投資して貯めたDLJポイントをJMBのマイルに交換するなど、より充実したポイントの活用ができるようになります。DLJディレクトでは、これを通じて顧客の一層の定着化を図るとともに、約872万人の会員数を保有するJMB会員ネットワークに対するブランドの認知度の向上ならびに新規顧客の開拓、イーマイルネットを活用したネット上でのCRM戦略の推進に取り組む考えです。

#### 【提携によるポイントサービスの特徴と概要】

DLJポイントとの交換による当該サービスの他社にない特徴としては次の点が挙げられます。

資産を運用して無料往復航空券に！・・・ポイント可用性の高さ

DLJポイントの特徴はポイント還元率の高さが挙げられます。特に投資信託取扱手数料の90%還元を活用することでポイント原資が大きく貯まるため、このたびのJMBについての提携は顧客にとって極めて大きなメリットとなります。例えば、手数料3%の株式投信300万円購入すると、2.7%分つまり、81,000ポイントが還元され、これをマイルに交換すると、23,000マイル以上が貯まり、香港、グアム、サイパンのエコノミークラスの無料往復航空券（20,000マイル）が獲得できます。

イーマイルネットを通じて幅広いポイント利用先を確保する

イーマイルネットは、JALが運営するJMBのネットワークと三菱商事の企業ネットワークをベースに独自のネット上でのポイントプログラムサイトである「e-milenet.com」を運営し、現在116社（提携見込みを含む）とポイントプログラムを提携しています。そこでは独自のポイントマイル（pマイル）を発行し、JMBとのシームレスな連携をのみならず、JMBの枠組みを超えた幅広いポイント提携を推進しており、顧客は多種多様なグッズ、ギフト券への交換が可能となります。このたびの提携により、DLJディレクトでは、DLJポイントの利用先が大幅に拡充し、顧客の多様なニーズに応えることができるようになります。

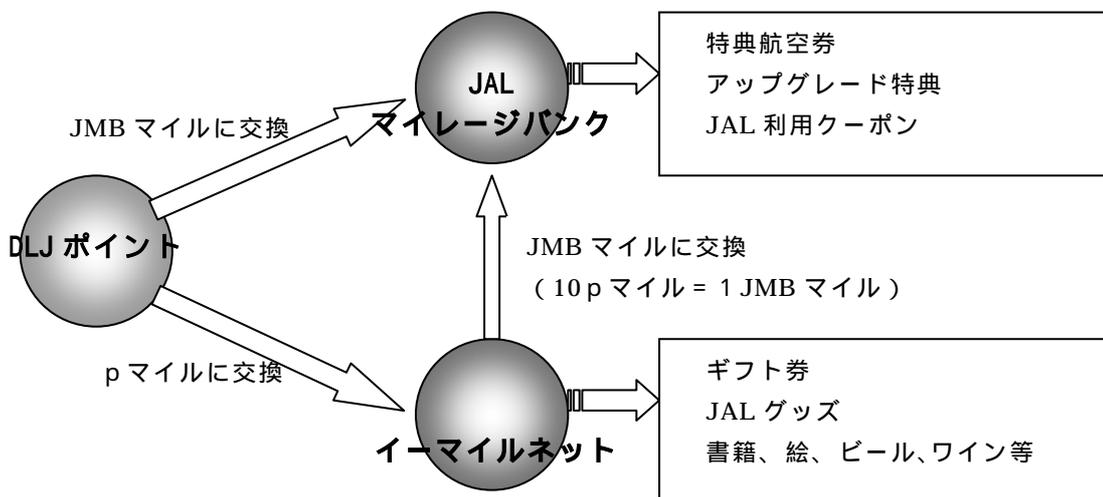
サービス開始予定

JMBとの連携サービス：9月中旬から下旬予定

イーマイルネットとの連携サービス：8月下旬からの予定

このたびのポイント交換サービスのスキームは次のようになります。

【図 1.ポイント連携図】



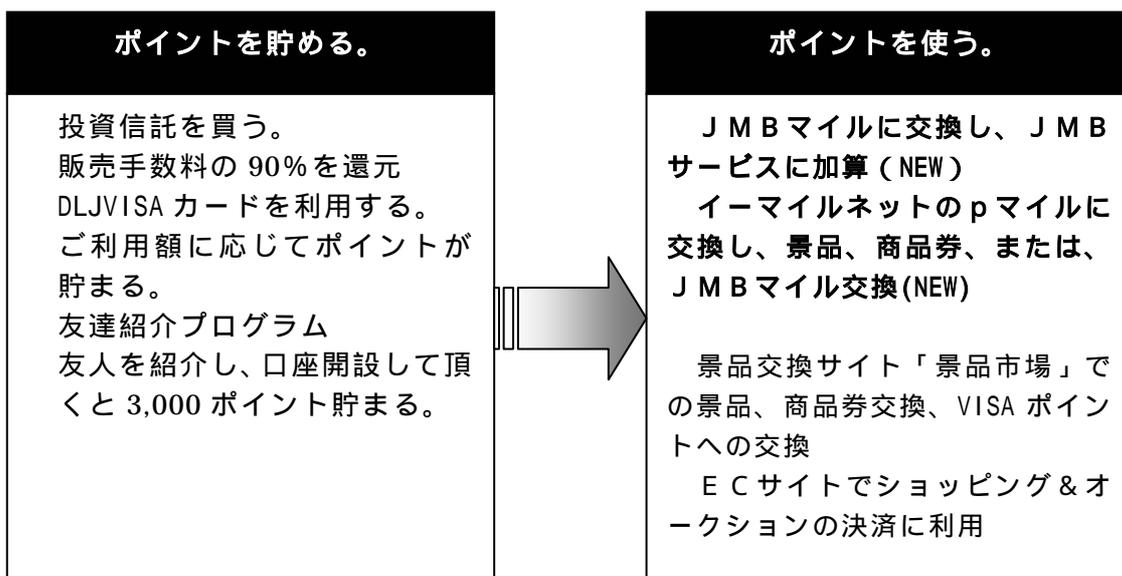
JMBマイルおよびポイントマイルへの交換レートは次の通りです。また、pマイルからJMBマイルへの交換はイーマイルネットにより提供されています。

DLJポイント：JMBマイル = 35ポイント：10マイル

DLJポイント：イーマイルネットpマイル = 35ポイント：100pマイル

今回の提携により、DLJポイントは一層充実し、サービス全体像として次のようになります。

【図 2.DLJ ポイントサービス全体図】



DLJディレクトは、1999年3月に設立され、同年6月11日よりサービスを開始した日本初のインターネット・トレーディング専門の証券会社です。CSFB*direct* Asia Holdings Inc.、三井住友銀行、インターネットイニシアティブ、住友商事、住友生命保険、住友海上火災保険、住友信託銀行が株主となっています。